

平成30年度 神戸市立海外移住と文化の交流センターの管理運営に対する評価票

1. 施設概要、指定管理者等

(1)施設概要(設置目的、施設内容)	海外移住の歴史及び意義の継承、地域に在住する外国人等との交流並びに国際的な芸術の交流を通じて、多様な文化が共生するまちづくりに資することを目的として、平成21年6月に開設。以下の3つの機能を併せ持つ複合施設。 ①希望と未知への船出の広場(移住ミュージアム機能) ②多文化との共生の広場(在住外国人支援機能) ③芸術を生かした創生の広場(国際芸術交流機能)
(2)指定管理者	海外移住と文化の交流センター共同事業体 【代表者】株式会社カワサキライフコーポレーション 【構成員】一般財団法人日伯協会(以下、「日伯協会」) 【 ” ” 】特定非営利活動法人関西ブラジル人コミュニティCBK(以下、「CBK」) 【 ” ” 】特定非営利活動法人芸術と計画会議(以下、「CAP」)
(3)指定期間	平成29年4月1日から令和3年3月31日まで
(4)H30市支出額(単位:円)	協定締結額48,311,000円 決算額………48,272,045円 (差額………38,955円は修繕費として精算戻入)

2. 管理運営内容

(1)管理実施状況	30年度の状況
①施設の維持管理業務	<ul style="list-style-type: none"> ・全館の統括責任者1名を中心に、施設・設備管理と3つの機能(部門)をそれぞれ担当する4名の運営スタッフの合計5名が常駐し、センターの運営にあたった。 ・設備の保全や清掃業務は外部に委託し、法令点検や定期点検等を行った。 ・館内外の美観の維持に特に配慮し、館内清掃はもとより、正面広場の芝生整備、植栽など、来館者に好感を与えるための施設整備を積極的に行った。 ・以前よりセンター北側住民より騒音の苦情があった別館空調設備の室外機について、別館南側へ移設した。また、近隣住民の方々への配慮として、5階ホールでの音楽イベント時の音量抑制及び別館における制作活動時の騒音抑制、遮光カーテンの活用による夜間照明の漏れ防止に取り組んだ。 ・昨年度に引き続き電気・ガス等の抑制に努めた為、電力使用料は前年比で2.3%減少し、ガス使用量は前年比で17.2%減少した。
②施設の運営業務	<ul style="list-style-type: none"> ○開館日数 304日 ○開館時間 午前9時～午後10時(移住ミュージアムは午前10時～午後5時) ○平成30年度の特記事項は以下のとおり。 ■希望と未知への船出の広場(移住ミュージアム) (1)企画展 <ul style="list-style-type: none"> ・日本人ブラジル移住110周年記念 「日本と世界の食糧危機を救う ブラジルの大地と日本の技術ー日本移民がブラジルを世界一の農業大国に変えたー」(6/16～9/30:1,526人) ・日本人ブラジル移住110周年記念 「『農業の神様』と呼ばれた日本人ーブラジルの食生活を変えた日本移民ー」(10/27～12/24:1,023人) (2)特別展 <ul style="list-style-type: none"> 「大原治雄写真展」(H30年2月～5/6:うち4/1～5/6まで 1,526人) (3)常設展 (4)移住ミュージアム企画委員会の開催(H31.3.8) ■多文化との共生の広場(在住外国人支援) ・日系人への生活相談 ・日系ブラジル人の子どもたちに対する日本語学習支援教室・母語教室 ・移民祭など移民の歴史を啓発する事業 ・南米諸国のお祭り(フェスタ・ジュニーナ)などの集客事業 など ■芸術を生かした創生の広場(国際芸術交流) (1)海外からのアーティストを含む様々なアーティストと市民との交流の場として、アーティストの制作プロセスを公開する「公開アトリエ事業」を実施(アトリエ12室、ドイツからのアーティストが参加) (2)企画展覧会(10回)を実施し、国内外のアーティストの作品を展示 <ul style="list-style-type: none"> ・6月「仮の風景 あっ パートⅡ」来場者約2,500人 ・12月「Hello happiness, bye-bye sadness」来場者約630人 他

	③その他の業務	<p>○日伯協会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブラジル・ポルトガル語講座の開催 ・移住ミュージアムにおける関連品目の販売 ・関連図書・資料の閲覧提供 (2019年3月末現在、図書2,659冊、資料約500点あると判明。図書・資料一覧については分類整理を行ったうえでホームページで公開。) <p>○CBK</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブラジルからの訪問団の受入 ・ブラジル民話の発表会 ・移民写真展の開催 など <p>○CAP</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大人から子供まで参加できるアートに関する体験講座「アート林間学校」 ・土曜クラブ ・大人美術部 など 81の自主事業 <p>○3つの団体の連携事業として実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中南米音楽会(4回) ・ブラジル移民祭 ・アート林間学校
(2)利用状況		30年度の状況
	①施設利用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・入館者数: 30年度53,286人(対前年度比△11.1%) 29年度59,978人(対前年度比△10.1%) ・昨年度に続き、提案時の目標値(51,000人)を上回った(+4.5%)。 ・9/30～10/9の間のKOBÉ観光ウィークに積極的に参画した。 ・昨年に続き、三宮インフォメーションセンター・新神戸駅観光案内所・北野異人館観光案内所・北野工房・神戸海洋博物館でのリーフレット配布し、PRを依頼 外部施設等へのPR活動を実施 ・貸館対象施設の稼働率(コマ数方式、年間平均、カッコ内は前年) [全館トータル]55.0%(56.1%) [1Fホール]53.4%(45.5%) [2F多目的室] 68.2%(99.7%) [2Fセミナールーム] 14.5%(12.1%) [3F小会議室] 46.2%(56.9%) [3F大会議室] 37.6%(50.8%) [3Fギャラリー③] 100.0%(100.0%) [4Fギャラリー①] 77.6%(66.2%) [4Fギャラリー②] 77.6%(57.5%) [5Fホール] 21.8%(16.1%)
	②その他利用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場利用台数 30年度:3,299台(約11台/日) 29年度 3,059台(約10台/日)
(3)収支状況		30年度の状況
	①使用料または利用料金収入	<ul style="list-style-type: none"> [貸館事業]・活動支援室 30年度480,000円 29年度480,000円 ・会議室等 30年度403,900円 29年度376,500円 [駐車場使用料] 30年度974,100円 29年度850,700円 ※センターへの入館及び移住ミュージアムの見学は無料
	②指定管理者の収支状況	神戸市負担額 48,272,045円
(4)その他		30年度の状況
	①来館者に関する特記	<ul style="list-style-type: none"> ・国内で唯一現存する移住関連施設であることから、大学の研究グループ等による来館がある。 30年度:46大学(うち関西圏外18、海外3)のべ76回 29年度:52大学(うち関西圏外17、海外8)のべ89回 ・その他、自治体関係者、高校、中学、海外からの視察 等

3. 主な提案内容と達成状況(再掲)

※ 本欄には、利用者数や収入額、その他新たなサービスなどについて目標値などの提案があった場合に、その内容と達成状況を再掲すること。

	提案内容(目標値など)	達成状況
①利用者数または利用率	・入館者数 51,000人 ・貸館稼働率 48%	・入館者数 53,286人(達成) ・貸館稼働率 55.0%(達成)
②収入目標額	・貸館事業 350,000円 ・駐車場・・・目標設定なし	・貸館事業 403,900円 ・駐車場 974,100円
③その他新たなサービス	特になし	

4. 利用者の満足度調査等

	30年度の状況
①満足度調査の実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・調査方法: 来館者にできる限り声をかけ用紙を交付し、記入を依頼。 ・調査期間: 常時 ・回収件数: 30年度1,117件(29年度1,633件) ・質問項目: 来館目的、知った方法、来館回数、展示内容の評価、館内環境、スタッフの対応に対する評価、再訪の意向、同伴者の有無など ・イベント開催時は会場で配布・回収し、回収活動ができるだけ来館者に見える形になるよう工夫。
②満足度調査の結果	<p>【施設全般】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来館目的(重複回答あり、カッコ内は前年) 移住ミュージアム: 49(34)%、在住外国人支援: 4(3)%、国際芸術交流: 2(2)%、イベント27(18)%、貸館利用1(2)%、その他14(35)%、未記入4(6)% ・知った方法 HP7(6)%、観光案内所2(2)%、イベントチラシ11(6)%、新聞4(4)%、紹介42(20)%、通りがかり5(6)%、その他23(49)%、未記入8(7)% ・展示内容 とても良い: 45(47)%、良い: 36(32)%、普通8(12)%、あまり良くない: 0(0)%、良くない: 0(0)%、未記入: 12(9)% ・再訪の意向 ぜひ来たい: 48(36)%、来るかも: 44(54)%、来ない: 2(7)%、未記入: 6(3)%
③利用者からの主な苦情、意見とそれへの対応	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者からの苦情については特に見られなかった。 ・アンケート自由意見欄では、「今まで知らなかった日本人の移民政策のことを深く知れてよかった」「案内の方の説明が非常にとても分かりやすかった」という意見が多数見られた。他には、「見学者を呼び込む方法を工夫したほうがいい」「もっと広報して来館者を増やしたらいい」などの意見があった。

5. 選定評価委員会の評価

管理運営に対する総合評価	○AAA ●AA ○A ○B ○C
所見	<ul style="list-style-type: none"> ・ブラジル移住110周年記念として、移住についての理解を深める様々な事業を行った。また、移住に関心を持つ学生が増えている中、高等教育における利用に対してもしっかりとアプローチし、入館者増に取り組んだ。 ・昨年度に引き続き、施設の3つの機能を活用し、施設を有機的に活用していることは評価できる。 ・入館者が減少していることもあり、教育機関等に学習の場として活用してもらうよう積極的に周知し、施設の認知度を上げることに努力してもらいたい。